

# ともしえ

No. 69



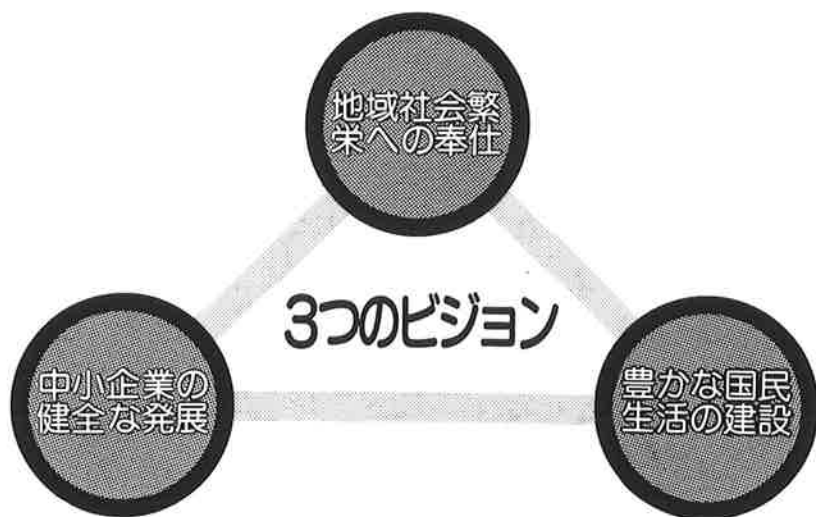
■函館商工会議所報■

1986 10月号

繁栄の

進路をひらく

商工会議所



はこしんは豊かな暮らしと  
確かな未来の実現に  
お手伝いいたします。

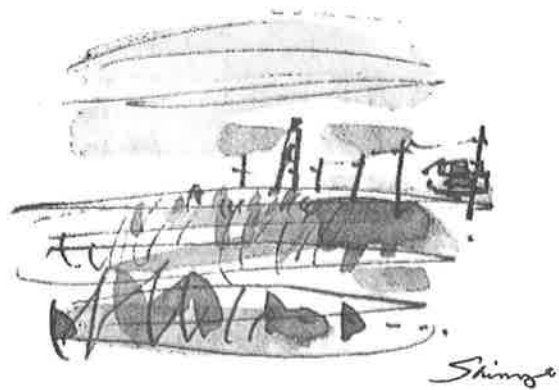
 **はこしん**  
函館信用金庫

本部 函館市豊川町7番19号 TEL22-1241(代)

本店	函館市豊川町15番20号	TEL 22-1247(代)	亀田支店	函館市亀田本町56番4号	TEL 42-3820(代)
松風町支店	函館市松風町11番15号	TEL 23-6221(代)	中道支店	函館市中道1丁目24番12号	TEL 51-1711(代)
ばんだい支店	函館市宮前町14番15号	TEL 41-6236(代)	上磯支店	上磯郡上磯町飯生2丁目4番24号	TEL 73-2151(代)
五稜郭支店	函館市本町30番24号	TEL 52-0511(代)	えさん支店	亀田郡恵山町字中浜115番の4	TEL 84-2111(代)
弁天支店	函館市弁天町13番11号	TEL 26-3646(代)	七飯支店	亀田郡七飯町字本町392番8	TEL 65-2501(代)
千代台支店	函館市千代台町12番22号	TEL 51-5238(代)	木古内支店	上磯郡木古内町字本町53番1	TEL 木古内 2-3121(代)
湯川支店	函館市湯川町2丁目18番7号	TEL 57-1492(代)	知内支店	上磯郡知内町字重内13番地の11	TEL 知内 5-5611(代)
花園支店	函館市日吉町1丁目27番3号	TEL 53-5521(代)			

●とせま・69号目次●

視 点	1
会議所の動き	2
地域の景気	6
調査レポート	8
アドバイスコルナー	10
寄稿文	12
Q & A	14
情報コーナー	16
ティータム	18
ご案内	20



● 視 点

秋分の日も過ぎて日も短くなり、昭和六十一年度も前半を終えました。円高がなお続くなかで、不況のまちといわれているこの函館ですが、しかし、今年は何かしら違ったものが感じられると思うのですがいかがでしょうか。

例えば、本年三月には五稜郭地区のコミュニティマート構想モデル事業の報告書がまとまり、事業実施に向けて一歩踏み出したのを始めに、七月には駅前地区の大型ホテル建設が始動、また青函博実行委員会も発足し、九月には道立美術館が開館、十月一日には工業技術センターの開所式が行われるなど諸事業が進行してきており、とても不況のまちであるという印象には受けとれないものがあります。

先月の函館地域懇談会の席上でも、主催者側の道経連より、函館は斜陽のまちなどといわれているが実体はそうではなく、函館は、今、発展の時期を迎えているとみてよいのではないか、その兆候は市内にいくらでもある。しかし函館の人々がこれらの状況をよく理解せず、その長所を残念ながら生かし切っていない。さらに青函トンネル開通は、東北地方の四百万人近い人々との一体的交流も可能にするのではないかとこの考え方もべられました。

道内の経済界の中核にある方々から、函館には発展のきざしが見られるといわれた訳ですので、これを軌道にのせ多少スピードは遅くとも確実に一歩づつ前へ進むよう努力し、足を引っ張りあうのではなく、市をあげてこのチャンスを利用し、力を合わせていくことが大切と考えます。

# 会議所の動き



## 新時代に向けスタート

### ㈱函館情報技術開発センター正式発足

去る三月二十六日の本所通常総会において、高度情報化社会に対応し情報技術者の養成機関の設置に取組むことが決議されて以来、本紙でもその経過をお知らせしてきた通り、鋭意業務をすすめてまいりましたが、その母体となる株式会社・函館情報技術開発センター



新会社設立について発言する川田社長（本所会頭）

の創立総会が十月一日午後、駅前五島軒で開催され定款の承認、取締役の選任等の議案が滞りなく可決され、ここに同社は正式に発足する運びとなりました。

偶々、同日はテクノポリス函館推進の中核となる北海道立工業技術センターがオープンし、また道の救急医療システムがスタートするなど、期せずして昭和六十一年十月一日は、当地域にとって情報化時代へ対応する機関が同時に発足する記念すべき日となりました。

同社の概要は次のとおりです。

#### 一、目的

- (1) 電気通信技術開発に関する情報の収集、分析に関する業務
- (2) 高度情報技術者の養成業務
- (3) 各種高度情報機器の研究、指導に関する業務
- (4) 高度情報機器を利用する通信

- サービスに関する業務
- (5) コンピュータ及びその関連機器による情報処理業務
- (6) 各種電子通信機器の販売、賃貸及びこれに関する参考図書の販売 等々

一、資本金 八千五百万円

#### 一、役員

代表取締役社長	川田 寛
代表取締役副社長	村瀬順一郎
取締役 副社長	加藤 憲
同	高野 洋蔵
同	下郡山信一
代表取締役専務	沼崎弥太郎
取締役	柳沢 勝
同	松崎 勉
同	池見 厚一
同	小笠原 孝
同	田中 仁
監査役	谷口 勢司

同社は函館市、上磯町、七飯町の出資も予定されており官民一体の企業として、高度情報化時代を支える人材の養成「函館ソフトウェア専門学院」の明春四月開院を各種事業に優先して行うべく準備をすすめております。

## 函館地域懇談会開催

### 高速道路・空港・観光等活発な意見交換

道経連と函館経済界との地域懇談会は去る九月二十五日、五島軒本店で開かれました。

昨年に引続きの開催で、道経連からは四ツ柳会長、五味副会長ら幹部と木戸浦市長、川田会頭はじめ函館側から約四十人の経済界関係者が出席しました。

まず四ツ柳会長が「円高に加え北洋、石炭、国鉄など諸問題が山積、本道経済はかつてない危機に直面しているが、道経連としても函館関連では、新幹線の青森開業と同時に函館までの乗り入れや、函館空港の整備等に積極的に取り組む」とあいさつしました。

ついで川田会頭から基調報告があったのち懇談に入りましたが、函館側から交通網整備と観光振興が将来を左右する問題との意見が大勢を占め、道央中心の施策が多すぎる、地方の時代に逆行するとの意見も出されました。

交通網については川田会頭が「高速道路は道南が最も遅れている、道縦貫自動車道は両端着工を」と要望、道経連も協力を約束しました。

また、函館側から函館空港の滑走路の延長、C I Q の設置、ダブルトラッキングなどの要望があったほか、道経連側から函館以北の新幹線について「リニアモーターカーは実験の段階であり、現時点では新幹線と同じレベルで考えられない。従って札幌までの新幹線誘致は従来通り運動して行く」との見解が示されました。

観光振興について地元側が「今年には観光客入込増が目立っている。これをぜひ青函博に結び付けたい」と説明。

「博覧会は道南地域活性化につながる。函館だけでなく全道レベルで成功させるべきで、道経連も協力する」と約束しました。

おわりに五味副会長は「道南の基幹産業はいずれをとっても現況はよくないが、道立美術館、工業技術センターのオープンや、第三セクターによる函館山ロープウェイの大型化、(株)函館情報技術センターの設立、駅前再開発の始動、

そして青函博という大イベントがあり、他地区に較べれば函館は明るい見通しがある。青函博は地元

の期待も大きい、日数もあまりないのでキチット成功させることを希望する」と結びました。

(東洋経済から全国六百五十三都市の成長力、経済力ランキングが発表されました。人口十万人以上の都市で函館はワースト五位で、ワースト10に北海道の五都市が入っています。①室蘭②小樽③釧路④旭川)

## 中国との経済交流会実施

中国との経済交流を強く望む函館中国経済促進協会では、九月二十日から十日間の日程で、津村茂氏を団長に本所村瀬副会頭など十七人が参加し、北京・瀋陽・丹東・大連・上海を訪れ、商取引を進めるなどの成果を上げました。

今回の視察は、本年六月に道が中国黒竜江省との友好提携を記念して企画されたものです。が、現在中国では国策として産業基盤の拡充強化を図るため、外国の資本や技術導入を積極的に行っており、この視察をステ

ップとして経済交流が本格化すれば、当市経済発展の大きなプラスになるものと期待されます。

対中国貿易に対して「当市は技術と設備を、中国は土地と人材をそれぞれ提供し、現地で製品化したものの六十%を買い上げるということであるが、理想的な貿易には相当な時間を要するものの、市場としては将来的に有望である。」との率直な感想が出され、今後友好親善を柱に各方面で交流の努力をして行くこととなりました。

# 企業の動脈硬化、

## 早期治療が大切

### 特別講演会「隗かいより始めよ」

本所中小企業相談所主催による特別講演会「隗かいより始めよ」が十月三日本所会議室で開催されました。講師の西田通弘氏は、「ホンダの最高参謀、仕掛人」と呼ばれ本田宗一郎、藤沢武夫両氏の経営哲学を体系づけ、制度化した人と評され、現在は、本田技研工業(株)



講演する西田通弘氏

の相談役等多くの役職についています。

講演会の中で、人間も企業も古くなる動脈硬化現象が起りやすくなり、こうした現象をできるだけ早く治療することが必要であるとし、企業発展の秘密は何かというところ、絶えず「若がいり」を図ることであり、その方法論として次の三つの項目をあげました。

まず第一に、チャレンジの場を設けることであり、社員に対しては失敗を恐れずに積極的に仕事にのぞませること。ホンダの研究所には「失敗表彰」制度もあり、本田宗一郎氏は、「1%の成功は99%の失敗の上に成り立っているんだ」と云い続け、これが社是のようになっていきます。失敗を恐れず、節目、逆境を自ずからつくり、逆境を逆手にとることが必要であると話されました。

第二に、獨創性を大切にすることをあげ、一人一人に知恵を出させ出番を作るシステムづくりの必要性を説かれました。

第三に、経営は生きものだといふ認識の上に立ち、変化への適応力を持つことをあげ、そのためには柔軟性・感受性を鍛え、ホンモノに接する機会を持つべきだとし、最後に本題の「隗かいより始めよ」という言葉の意味にもなりませんが、人の上に立つ人間は、率先垂範するべきで、まず自分が実行してみ、納得してから事を成すべきだと強調しました。

会場を埋めた約七十人は、終始熱心に聴講し、西田氏の語る「経営の芸」に強く感銘を受けていました。

### 第44回全道珠算競技大会

第四十四回全道珠算競技大会が去る九月二十一日(日)小樽市で開催され、全道各地から四百九十一人が参加し、団体・個人競技、種目別競技、都市対抗競技に日頃の技を競いました。

函館地区からも二十四人の代表選手が参加しましたが、競技の結果、「そろばん北海道一」には美唄市の大塚健一さん(たまえ珠算塾)が、四年連続で栄誉に輝きました。

函館分入賞者

△個人競技▽

◎一般の部三位 高橋澄夫(鷲ノ木小教諭)

◎中学校の部三位 日沼祐子(戸倉中)

◎小学校の部三位 高橋大輔(鷲ノ木小)

△読上暗算競技▽

◎小学校の部三位 高橋大輔(鷲ノ木小)

◎小学校の部三位 高橋大輔(鷲ノ木小)

△読上暗算競技▽

◎小学校の部三位 高橋大輔(鷲ノ木小)

◎小学校の部三位 高橋大輔(鷲ノ木小)

◎小学校の部三位 高橋大輔(鷲ノ木小)

◎小学校の部三位 高橋大輔(鷲ノ木小)



## 事務局日誌

9月

### ◇正副会頭会議

13日 第20回正副会頭会議

### ◇会議

2日 観光サービス部会  
 // 小企業等経営改善資金審査会  
 16日 //  
 25日 テクノポリス委員会

### ◇諸会議

3日 青函トンネル資材協力会役員会  
 // 企業誘致懇談会  
 4日 北海道・東北商工会議所連絡会議  
 // 岩見沢・函館振興委員交流会議  
 // 函館圏企業誘致推進協議会幹事会  
 5日 市民生協新川店に関する協議会  
 6日 市長との懇談会  
 8日 橋本運輸大臣を囲む朝食会  
 9日 函館市大型店出店対策協議会  
 // 第2回住居表示審議会  
 // 函館市競輪運営協議会  
 // 道商工会議所連合会、金融税制・中小企業委員会  
 10日 道商工会議所連合会、政策委員会・運輸観光・地域振興委員会  
 // 函館市中小企業振興審議会  
 // 五稜郭商店街整備協議会  
 // 心身障害者の雇用を考える市民の集い  
 11日 小花特許庁審判部長・生駒発明協会理事を囲む懇談会  
 11~12日 全道商工会議所女子職員研修会  
 11~13日 全国商工会議所業務・検定担当者会議  
 12日 本所経営指導員と国民金融公庫の連絡会議  
 // 道南地域ニューフロンティアフェスティバル実行委員会  
 16日 青函トンネル開発記念博覧会実行委員会幹事会

16日 税を知る週間打合せ  
 17日 日本商工会議所第344回常議員会、第98回議員総会  
 // 日本商工連盟第4回全国懇談会  
 18日 日銀との懇談会  
 // 滝川駅前振興組合青年会函館視察  
 19日 函館経営者協会金曜会  
 // 青函トンネル資材協力会トンネル視察  
 // 函館簿記学校終了式  
 20日 八戸商工会議所婦人クラブとの交流会  
 21日 全道珠算競技大会  
 24日 市民生協新川店に関する協議会  
 25日 函館地域懇談会  
 // 心身障害者職場見学会  
 26日 テクノポリス函館技術振興協会第3回理事會  
 // 振興委員連絡協議会  
 27日 新幹線現駅誘致促進準備会  
 30日 中央会商業・サービス業組織化推進地域部會

### ◇講習・催物

4日 記帳講習会  
 9日 本所・函館卸商連盟(流通問題懇談会)  
 11日 記帳講習会  
 // 函館繊維商組合清遊会(ワールド温泉牧場)  
 18日 記帳講習会  
 2・4金曜日 法律相談室  
 4水曜日 経営相談室  
 4水曜日 発明相談室

### ◇刊行物

20日 所報「ともえ」No.68(9月号)発行

### ◇相断・診談

金融170 税務25 経理27 経営163  
 労働3 取引3 その他5 計396

### ◇文書

受信215 発信12

### ◇慶弔・その他

13日 市立工業指導所廃所記念式典  
 14日 北海道函館商業高等学校創立100周年記念式典  
 22日 道立函館美術館開館記念式典  
 30日 故田島久三議員三回忌法要

PHOTO CINE & AV  
**image**  
 PRODUCTIONS

## 道映写真 INC.

- 本社 ●放送制作部 ●第1スタジオ  
 函館市日吉町2丁目6-12 ☎(0138)56-0733  
 facsimile 56-0648
- 第2スタジオ ●第2スタジオ  
 函館市東山町210-47 ☎(0138)55-0092
- 現像所 ●営業本部 ●現像所  
 函館市日吉町2丁目31-18 ☎(0138)51-9295  
 facsimile 54-5258

(乳加工品)

主力粉・練乳は業界の過大生産から需給地合いが引き緩んでいるほか、アイスクリーム等季節商品も不需要期入りするため、生産は抑制。

(漁 網)

秋サケ用定置網の出荷は一巡しつつあるものの、沿岸スケトウ・イカ用刺し網の受注が引き続き順調なほか、出遅れていた底引網の引き合いも北洋の漁期入りとともに徐々に増加しはじめたため、小幅ながら減産を緩和。

(その他の製造業)

合板は、住宅、家電等向けに高級品の引き合いが好調なため、時間外勤務の拡大によりフル生産。生コンは、漁港改修工事、道路整備工事等を中心に順調な出荷をみている。

セメントは、韓国からの安値輸入品との競争を主因にこのところ出荷が頭打ち。このため、生産も幾分引き下げ。

(建設関連)

管内主要官公庁の公共工事発注状況は、引き続き前年水準を上回るハイペースで進捗(8月末発注率79.5%<前年77.3%>)。また、住宅着工もマンション等を中心に堅調持続。

(農 業)

水稻の成熟が幾分不良ながら、畑作物は、夏場の好天を映じ、収穫中の馬鈴薯が平年作を幾分上回る作柄となっているなど全般的にこれまでの成育遅れを取り戻してきている模様。

(漁 業)

近海マイカ漁は、漁最盛期にもかかわらず極端な水揚げ不振を続けており、魚価は前年を5割方上回る高値で推移。

(小売商況等)

8月中の市内大型小売店(10か店)の売上げは、天候の回復や日曜日が前年より1日多かったこともあって、夏物衣料品、家庭用品、身の回り品等が好売れ行きを示したため、月中では前年を2%上回った。9月入り後も秋物衣料品を中心に比較的順調な模様。自動車販売(含む軽自動車)は、新型車投入効果や3年車検到来による買い替え需要の増加から順伸(8月中管内自動車新車販売台数前年比+7.7%)。家電販売も、大型カラーテレビ、VTR等を中心に堅調な動きを継続。この間、夏場の観光・レジャーは、主要観光地が多くの管内・外客で賑わいをみせ、宿泊施設や交通機関の利用も前年を上回るなど総じて盛況裡に終息。

3. 金融事情(8月中)

○管内金融機関の実質預金は、月末休日に伴う一時的滞留や厚生・国民年金の流入を主因に、月中141億円の大幅増加(前年48億円増)。

一方、貸し出しは、水産加工の原魚買付資金や卸売の決済資金等を中心に月中48億円の増加(前年70億円増)。

この間、管内銀行の貸出約定平均金利は月中△0.043%と引続き低下(前月△0.052%)。

○銀行券は、夏場観光・レジャー資金等の順調な還流から19億円の還収超(前年同31億円)。

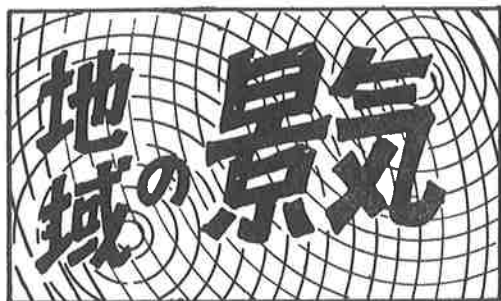
○財政収支は、寒冷地手当の支給や公共事業関係費の支払等が嵩んだため、月中14億円の払超(前年同16億円)。

以 上



8月

昭和61年9月29日発表



## 日本銀行函館支店

### 1. 概況

○最近の管内経済動向をみると、自動車販売や大型小売店売り上げの堅調、観光・レジャーの盛況等個人消費が底固い動きを続けているほか、畑作物の成育も持ち直している反面、企業の生産活動が頭打ち傾向にあるほか、近海マイカ漁も不振を極めるなど、業種により明暗区々となっており、全体としては停滞色を濃くしている。

○すなわち、企業の生産活動面では、受注環境の厳しい造船が減産態勢を強めているのははじめ、飼料・魚油、漁網、乳加工品、製缶機械等でも受注の低迷等から生産を抑制している、これに対し、電子部品、合板合板機械、珍味加工等では、末端実需の根強さを背景にフル生産ないし高操業を維持している。農作物では、水稻の成熟が幾分不良ながら、畑作物の作柄は夏場の好天を映じて殆ど平年並みまで回復している。近海マイカ漁は相変わらず極端な不漁の様相。

個人消費面では、大型小売店の売り上げが衣料品・身の回り品等を中心に幾分持ち直しているほか、自動車販売も5か月連続前年を上回っており、夏場観光・レジャーも好調裡に終息。

金融面では、需資全般に盛り上がりを欠き、管内銀行の貸出約定平均金利も引き続き低下。

### 2. 主要業種別動向

#### (造船)

修繕船の受注が幾分持ち直しているほか、60年1月以来久方振りに小型新造船(砂利運搬船等)を受注したものの、親会社からの大型新造船の繰り直し受注がとだえたままとなっているため、操業度は低下傾向。

#### (電子部品)

市況は業界の増産等から引き続き軟調裡に推移しているものの、生産は産業用ロボット、VTR、OA機器等の国内・外メーカーからの引き合いが旺盛なため引き続き高水準。

#### (珍味加工)

観光・レジャーの盛り上がりを映じて引き合いが好調で、フル生産を継続。この間、ムラサキイカ漁の不振から原魚仕入値の上昇を余儀なくされ、採算は不味。このため、9月入り後製品価格の値上げに踏み切った。

#### (化学)

飼料は市況の低迷から、また魚油は輸出の中断からいずれも抑制的な生産を継続。一方、化学肥料は、来春肥手当等に対する農家筋の購買意欲が旺盛なため、フル生産。

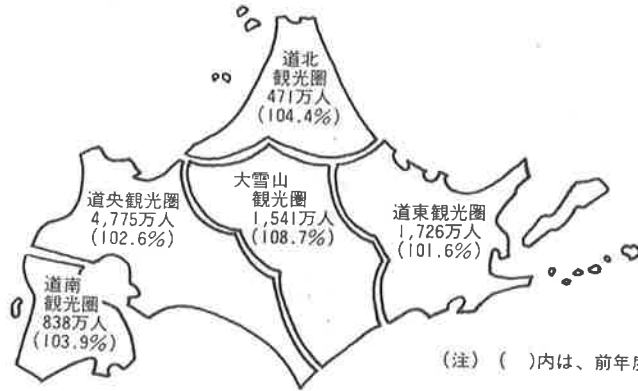
#### (機械)

製缶機械は、缶詰メーカーからの更新需要が細ってきているため、生産は漸次減少。合板機械は、合板メーカーの合理化・省力化のための投資意欲が根強いいため、受注、生産とも好調。

#### (段ボール)

近海マイカ漁の不振を映じ、水産関連業界からの引き合いは低調ながら、収穫・出荷最盛期入りの農作物向け出荷が増加しているため、幾分増産している。

昭和60年度  
観光圏別入込み状況  
全道入込総数  
9,351万人  
(103.6%)



(注) ( )内は、前年度対比

### 入込み数の多い観光地

(単位：千人)

年度 順位	60	59	58
1	札幌 7,317	札幌 7,440	札幌 7,125
2	中山峠 4,623	中山峠 4,569	中山峠 4,230
3	洞爺湖 3,053	洞爺湖 3,114	洞爺湖 2,760
4	富良野・芦別 2,826	小樽 2,659	富良野・芦別 2,621
5	<b>函館 2,729</b>	支笏湖 2,612	支笏湖 2,522
6	支笏湖 2,698	<b>函館 2,597</b>	<b>函館 2,455</b>
7	登別 2,543	層雲峡 2,520	層雲峡 2,407
8	ニセコ 2,504	登別 2,413	登別 2,316
9	旭川 2,414	富良野・芦別 2,399	ニセコ 2,221
10	層雲峡 2,387	旭川 2,334	旭川 2,194

## 統計資料

函館市内第一種大規模小売店舗売上高 (10店) 昭和61年 8月

品目	売上高(千円)	対前月比(%)	対前年同月比(%)
衣料品	2,173,878	74.6	103.8
身体用品	456,829	77.6	100.5
雑貨	668,040	62.1	100.0
家庭用品	652,786	92.5	115.1
食料品	1,853,693	99.4	101.0
食堂・喫茶	210,747	116.0	92.5
サービス	55,192	82.6	88.1
その他	190,996	59.9	82.0
<b>総計</b>	<b>6,262,161</b>	<b>81.1</b>	<b>102.0</b>

※ 10店とは棒二森屋、丸井今井、さいか、和光、ハイショップホリタ、テオー小笠原、長崎屋、イトーヨーカ堂、函館西武、ホリタショップパーズプラザ湯の川店の各店をいう。

経済の窓

昭和60年度

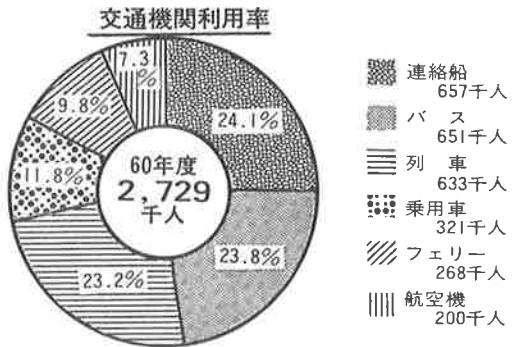
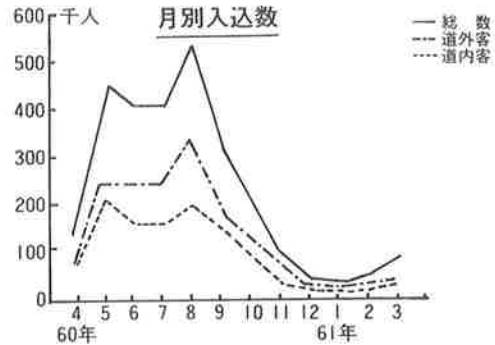
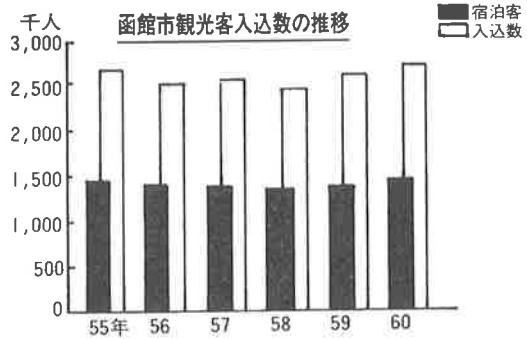
観光客入込数

函館市では例年当市を訪れる観光客の入込状況について調査・推計しておりますが、昭和60年度の概況について以下にお知らせいたします。

観光客入込数の概況

昭和60年度における来函観光客は272万9千人で、前年度259万7千人に対して13万2千人、5.1%の増加、うち宿泊客も148万7千人で同5.5%増加している。増加の要因としては、夏場が好天続きだったこと、観光客誘致対策の強化、観光資源整備の充実、宣伝効果の浸透などが考えられる。

入込数を月別にみると、8月が53万2千人で全体の19.5%を占め、次いで5月の45万人(16.5%)、6月の40万人(14.7%)、7月の39万7千人(14.5%)と例年同様、夏場に集中している。また利用交通機関別で見ると、バス、乗用車、フェリー、航空機は増加したが、連絡船、列車は減少した。



観光客入込数の推移

(単位：千人)

	函 館			北 海 道			
	道外客	道内客	総 数	前対比	宿 泊 客	総 数	前対比
55年度	1,392	1,276	2,668	106.3	1,456	82,659	105.6
56年度	1,287	1,234	2,521	94.5	1,372	80,902	100.0
57年度	1,274	1,257	2,531	100.4	1,380	84,962	100.0
58年度	1,206	1,249	2,455	97.0	1,332	85,640	100.0
59年度	1,179	1,418	2,597	105.8	1,410	90,284	100.0
60年度	1,594	1,135	2,729	105.1	1,487	93,510	100.0
60/4月	67	66	133	103.7	49	3,010	104.2
5	243	207	450	115.9	270	7,600	113.4
6	243	157	400	110.3	240	9,830	107.5
7	242	155	397	100.2	238	15,970	94.9
8	334	199	532	104.1	319	19,170	101.2
9	171	149	320	102.6	157	10,510	101.6
10	120	84	204	96.4	92	6,600	99.0
11	56	35	91	103.7	34	3,030	107.8
12	24	17	40	101.7	15	2,960	110.8
61/1	22	15	37	96.4	15	5,080	110.2
2	31	18	49	97.6	22	5,510	115.3
3	41	35	76	105.3	36	4,240	109.0

(資料：函館市、北海道)

# ヒント

繁栄

# ぴんと

## 労務管理の基範

人をうときの

法的規制

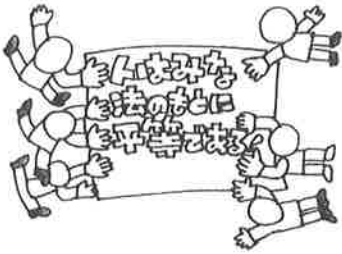
### 労働基準法と就業規則

人を一人でも使うことになれば、(アルバイトでも、パートタイマーでも)労働基準法の適用を受けることとなります。ところが労働基準法があることは知っているが、一度も読んだことがないと言う人がおられるように思いません。労基法を勉強しなくても、会社を運営していくことは出来るかも知れませんが、人を使って経営しているとき、満点の経営とは云

えないように思います。このようなとき知らないことが原因で種々の問題が発生し、しなくてもよい苦勞をしているのではないのでしょうか。

人を使う立場にある人は、是非労働基準法を勉強していただきたいと思えます。

また、常時十人以上の人を使うときは、労働基準法によって、就



業規則の作成と届出が義務づけら

れております。

十人以下であっても、会社のきまりとして規定を作っていてよいのです。

「人はみな法のもとに平等である」就業規則は、社員を取締まるものではありません。人を平等に取扱うためにあるのです。

労務管理の基範になるものは、労働基準法であり、就業規則であると思えます(これの他にまだ沢山の法律があります。労働法や社会保険六法などです。)

法律に従わない、守らない企業は立派な会社とは云えません。また、どんなに有能な人であっても、法律や会社の規則を守らない人は、社員として失格です。

まして労働基準法は、最低の条件を決めている法律なのです。

憲法から労働基準法が生れ、労働基準法から就業規則が生れています。従って就業規則は会社の憲法と云っても過言ではないのです。

経営者も、担当者も、そして働く人もこの就業規則にあまり関心を持っていないのが現状ではない

information.....now!

確かな経営戦略のために、活きたデータを提供します。



株式会社 東京商工リサーチ 函館支店

〒040 函館市本町6番7号(函館第一生命ビル) ☎(0138)54-8691

でしょうか。

この大切な基礎を五年も十年もそのままにしていたり、他の会社から借りてきて社名を変えただけのものなどがあります。

法を守り、会社のきまりを守って、心身ともに安定の上に立って働く人がその能力のすべてを出し切って、会社目的（利益の追求と存続性）を達成すべきではないかと思いません。

労働基準法では、正社員とかパートタイマーだとかの区別はしていません。働く人はどんな人にも適用されるのです。

### 一、採用

まず、会社にはどんな仕事があるのか、その仕事をするためにどんな人が必要なのか。

ここに人を採用する（雇用管理）ことになります。

採用実施に当っては、紹介、職安、新聞など色々ありますが、一般的に面接が行われ、性格、能力などを判断し、採否の決定をすることになります。（不採用になった人に細心の配慮を忘れないこ

と、通知などをしていねいに）

労働条件を提示し、会社で採用しても相手が断ってくることもあるのでです。

使う方と働く方が、互に納得して採用が決まります。労基法では労働条件の明示とくに賃金に関することについては、文書で相手に渡すことになっています。



手続きとしては、労働者名簿、賃金台帳、出勤簿（タイムカードなど）の作成、雇入れ時の健康診断など必要になってきます。

保険などに適用されるときは、

健康保険（家族であれば被扶養者届）、厚生年金保険（以前加入したところのある人は被保険者証Ⅱ手帳）、雇用保険（以前加入したことを添付して取得（入社の手続）の手続きをすることになります。

よくいつくかどうか様子を見て、実際に入社した日ではなく、一カ月位おくれで取得の手続きをする会社がありますが変大な誤りです。

理由は、たった一日の差で雇用の受給資格の要件に満たなかったり、健康保険などの退職した後継続療養ができなくなったりします。

入社日は非常に重要な意味をもっています。パートタイマーなどの採用に当っては、雇入れ通知書、雇用契約などあとで問題など起らないよう初めからきちんと決める必要があります。雇用期間を定めるときは、一年を超えてきめることはできません。

63年の伝統と信用を誇る

## 早川特許事務所

特許、実用新案、意匠、商標、権利侵害

所長 弁理士 早川 政 名

〒112 東京都文京区白山6-17-7 早川ビル 電話 (03) 946-0531<代表>

発明相談 11月19日水曜日午後1時から午後5時まで、函館商工会議所で相談をお受けいたします。相談は予約制になっていますので、商工会議所相談課（23-1181 内線63番）にお申し込み下さい。

# 社内課題の共有化を

## CI導入のポイント



株  
オ  
フ  
ィ  
ス  
2  
0  
2

CIプランナー 塩 味 裕 久

### CI導入の障害は何か

ここ十年来CI（コーポレート・アイデンティティ）に対する関心が急速な高まりを見せ、今なお、ブームの様相を呈している。発表された事例の中には、日本の企業風土に合ったすぐれた事例もいくつか見かけるようになった。しかし社長自らCIの導入を宣言し、プロジェクトを開始したにもかかわらず、途中で挫折するケースがけっこうあるという。CIプロジェクトを推進するにあたって、何が障害なのだろうか。その原因は次の三つに大別できる。

① CI導入によって何を解決するのか、いわばCIのフレームワークを明確にしないままプロジェクトが進んでしまふということ。

② 企業が置かれている状況や外部の人々の認識、内部の意見などについて、客観的な調査が実行されていないという

こと。

③ CIプロジェクトを全社員を巻き込んだ運動にいくことがなかなか困難であるという点。

フレームワークの明確化にしろ、調査にしろ、いずれもデザイン開発以前の問題である。いわばこのビフォーデザインの部分にどれだけテーマヒマをかけることができるか、客観的で念入りな調査をもとに、新しいロジックを構築することができるかどうかによって、CIの成功、不成功が決定してしまうと言っても過言ではない。これらの障害について考えてみよう。

### 問題解決のゴールは社内での共通認識にある

CIとは、他の経営技法と同様に企業の「問題解決学」である。しかし企業が抱えているあらゆる問題をCIプロジェクトで解決できると考えるのは誤りだ。CIは次の三つの課題に対して有効なのである。「主体性の明確化」「好イメージの形

成」「表示の標準化」である。

CIを導入する際に、企業が抱えている問題点を徹底的に洗い出し、その中からこの三つの軸に沿う課題を抽出することがプロジェクトとして一番最初にやらなければならないことである。そして抽出された問題に対して、社内で共通の認識を持つことが重要である。もしこの段階で課題の共有化が十分行われていなければ、あるべきゴールを明確に設定することはできない。

### ステップの積み重ねが問題解決につながる

CIの次のステップは、フレームワークを整理することによって、明確になった「問題」を客観的に調べるといふ作業である。この作業は調査の設計、実査、集計、分析という手順で進めていく。この段階では何よりも客観的なデータを積み重ね実証的に読み込んでいくことが必要である。企業のイメージは複数の要因により形成されている。その一つ一つを念入りに分析していくことが、企業の自画像を明確にしていくことなのだ。

つまりここで必要なのは感性ではなくロジカルな思考方法であり、ここにおいてはロジックの正しい展開が要求されるのである。

次のステップは、今まで積み重ねてきたデータを総合的に解説する作業である。トータル・コンセプトと呼ばれる企業の総合戦略を立案する作業である。ここでは企業使命、経営理念、活動領域、社員の行動基準を再構築する。その他、今後具現すべきイメージ方向や、それにもとづいたVIS（ビジュアル・

アイデンティティ・システム）、R&D（調査・開発）、社内外コミュニケーション活動など幅広い総合的なコンセプトを明確にする作業である。

ロジカルなステップから次は感性的なステップへと移行しなければならない、デザイナーの登場である。このようなCIプロジェクトはロジックと感性といった、いわば異質の次元を取り込んだプロジェクトなのである。異なる性質のものを高い次元で一致させ、会社の運命を新たに切り拓いていこうとする大胆不敵なプロジェクトなのだ。

### 企業は社員一人一人の自確の上に成り立つ

そして何より、CIプロジェクトとは、企業の構成員一人一人が自らを観察し、知恵を出し、実践していくことであり、新しい企業イメージを大切に育て、企業文化を形成していくことなのである。

CI＝コーポレートアイデンティティー（Corporate Identity）  
企業のシンボルやカラーなどの統一。

消費者に与える一貫した企業のイメージ。

シンボルマークや商標などが記憶されやすいように独自性と一貫意を持たせること。

商店の屋号や称号なども一種のCIということが出来る。